

K. Oさん 34歳

【令和4年受験対策 社労士入門合格コース(教室通学)】

Q. 社会保険労務士試験を目指そうとしたきっかけを教えてください。

A. 以前、サービス業に勤務していた際、採用・労務管理に携わり労務のプロである社会保険労務士に興味を持ちました。昨今のコロナウイルスの影響で大規模な人員整理が行われ、その時の悔しさから、社会保険労務士になろうと思い勉強を始めました。

Q. 社会保険労務士試験を目指すのに大原を選んだ理由を教えてください。

A. 簿記の取得で大原の授業を受ける機会があり、担当の方の授業が分かり易い事、問題が良質な点から大原を選びました。1年目は別の資格スクールに通学していましたが、大原は毎回ミニテストや直前演習など試験合格に向けた徹底したカリキュラムとなっており、テキスト配布も1科目が終了して次の科目分という流れなので、モチベーションを最後まで保つことができました。Twitter や YouTube の社労士 24 もスキマ時間に見れて、とてもありがたかったです。

Q. 1日何時間程度、勉強しましたか？

A. 平日:平均1時間  
休日:5~6時間  
直前期:8~12時間

Q. 1番苦労した科目は何ですか？どのように克服しましたか？

A. 1年目に範囲の多さから社会保険科目を回すことが出来ず、苦手意識がありました。大原ではどの科目も満遍なく択一問題集を回すことに意識し、授業を受けても理解しきれない箇所は、映像で見直して、分からないままにしない様に注意しました。

Q. 問題集は何回繰り返しましたか？

A. 択一問題集は5回、選択問題集は全体的に触れておらず、直前期に労働科目のみ1回転しました。

Q. 5月頃(直前期に入る前)までの勉強方法について教えてください。

A. 次回講義までの択一問題集を必ずやり切ること、毎回のミニテストで集中して高得点を取れる様意識していました。授業で出来る限り情報をインプットしたかったので、予習はせず、復習に力を入れて授業で不明な点は都度先生に聞きクリアにしていきました。確認テスト、中間テストは本番のつもりで受けていたので苦手な箇所は映像授業を見返してテストに臨んでいました。

Q. 6月以降(直前期)の勉強方法について教えてください。

A. 受験に向け離職した為、2ヵ月間はほぼ毎日自習室で勉強していました1人では集中力が切れてしまうタイプで、大原さんでは会計等他の資格を目指した受験生で朝から晩まで勉強されている方も多く刺激となりました。全科目択一問題集を回す事、実施済の確認テスト・中間テス

トをやり直し点が取れない箇所を洗い出しました。映像授業を見返しても定着しきれていない部分は京大式カードを作り横断的にインプットしました。

**Q. 本試験当日に注意すべき点など、何かアドバイスはありますか？**

- A.** 2～3日前から前日にかけてしっかり睡眠はとること。前日緊張で寝れなくても布団に入り目を瞑り脳を休ませる。当日朝の勉強は不安に思わない様、白書や法改正だけとか直前にあれもこれもやらない方が良いと思います。服装は楽で体温調節しやすい格好。朝昼エネルギーはしっかり取って、午後の択一では、脳がエネルギー不足にならない様糖分のある飲料水を試験途中に飲む事を決めていました。

**Q. 今後はどんな道に進む予定ですか？または、現在どのような道に進んでいますか？**

- A.** 社労士業の経験を積んで、将来的に開業も視野に入れていきます。

**Q. 率直に、合格発表直後の心境はいかがでしたか。**

- A.** 試験後の自己採点で合格は予想できましたが、去年ぼろぼろだった点数が1年でここまで変わった事に驚きでした。中間テストでは毎度選択科目で足切りがあり、総合Bランク止まりだったので、大原にスクールを変えた事、直前期離職し猛勉強した事、自身の選んだ道が正しくとても嬉しかったです。分かり易い授業、親身に相談にのって下さり本当にありがとうございました。